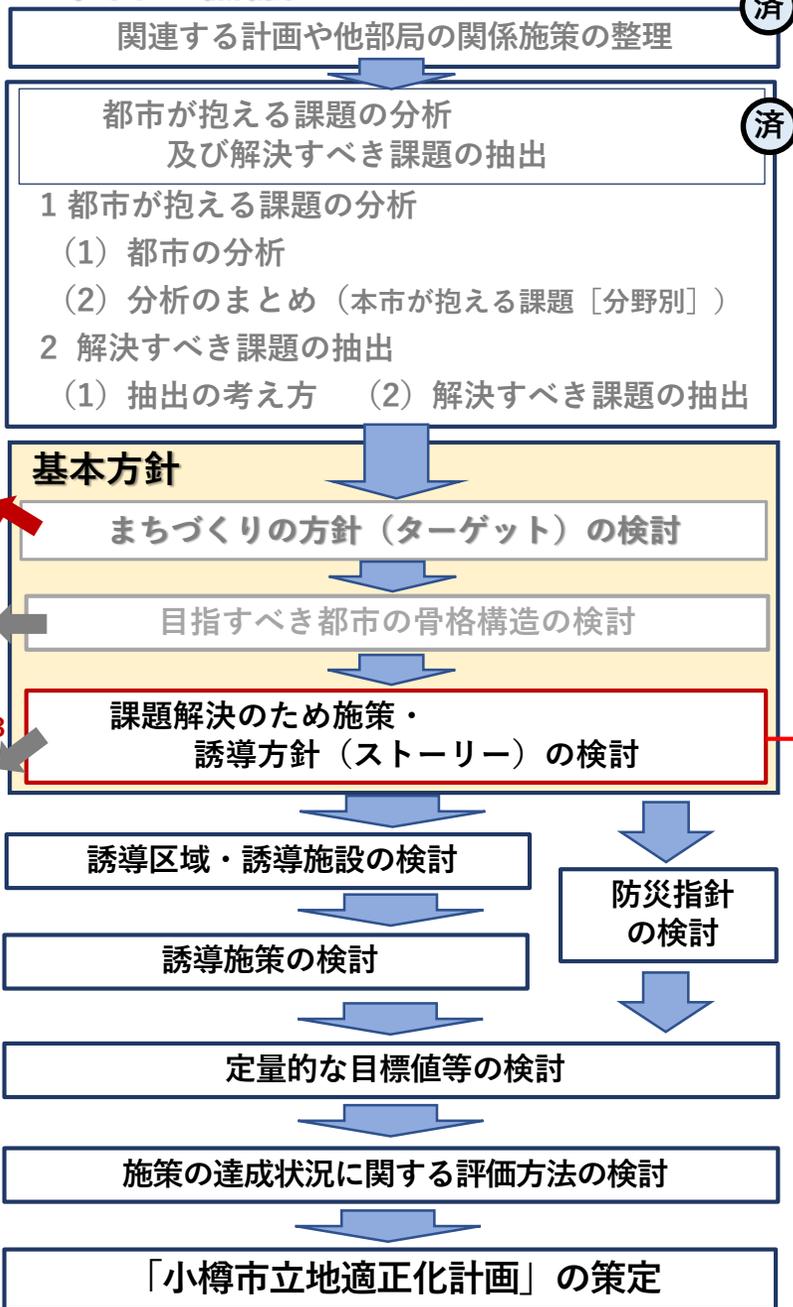


課題解決のための施策・誘導方針の検討

小樽市立地適正化計画策定委員会資料（第4回）



■本日の協議ポイントについて



関連する計画や他部局の関係施策の整理

都市が抱える課題の分析及び解決すべき課題の抽出

1 都市が抱える課題の分析

- (1) 都市の分析
- (2) 分析のまとめ (本市が抱える課題 [分野別])

2 解決すべき課題の抽出

- (1) 抽出の考え方 (立地適正化計画で解決できる視点について)
- (2) 立地適正化計画により解決すべき課題の抽出



まちづくりの方針の検討

●前回委員会での御議論を踏まえ、居住等に関する3つの方針を設定
<立地適正化に関する基本的な方針 (都市再生特別措置法第81条第2項第1号)>



目指すべき都市の骨格構造の検討

●都市全体の観点から、まちづくりの目標とまちづくりの方針を見据えながら、「拠点」と「基幹的公共交通軸」の将来においても持続可能な「都市の骨格構造」を抽出

課題解決のための施策・誘導方針 (ストーリー) の検討

●まちづくりの方針と都市の骨格構造の検討を踏まえ、誘導等の方向性 (ストーリー) を設定、本市で想定される課題解決のための施策を例示

議題5

資料4

小樽市立地適正化計画 基本方針 (素案)

済

済

済

済

資料1

議題2

資料2

議題3

資料3

議題4



■課題解決のための施策・誘導方針（ストーリー）の検討

- まちづくりの方針と都市の骨格構造を踏まえ、3つの誘導等の方向性を設定します。
また合わせて、方向性ごとに、本市で想定される課題解決のための施策を例示（イメージ）

持続可能で効率的なまちづくり

まちづくりの方針
（ターゲット）

居住に関する方針

居住者の安心で快適な暮らしと地域のつながりを持続可能とする、地域特性に応じた拠点等を中心とした日常生活圏の形成に向け、ゆるやかに居住を誘導・集約します。

都市機能に関する方針

居住の誘導・集約と連携を図りながら、誰もが将来にわたって利便性を享受できるよう、各拠点に、その役割や地域特性に応じた都市機能を確保します。

交通ネットワークに関する方針

拠点間や拠点等を中心とした日常生活圏の移動を支える持続可能な交通ネットワークの形成を図ります。

都市の骨格構造

誘導等の方向性
（ストーリー）
・
課題解決のため施策例

誘導等の方向性

- まちづくりの方針と都市の骨格構造を踏まえ、課題解決のための**誘導等の方向性**を設定

2 ページ参照

施策例（イメージ）

- 課題解決のための施策例（イメージ）
※実際の施策については、居住誘導区域等の検討の際に合わせて検討します。

誘導等の方向性

- まちづくりの方針と都市の骨格構造を踏まえ、課題解決のための**誘導等の方向性**を設定

3 ページ参照

施策例（イメージ）

- 課題解決のための施策例（イメージ）
※実際の施策については、居住誘導区域等の検討の際に合わせて検討します。

誘導等の方向性

- まちづくりの方針と都市の骨格構造を踏まえ、課題解決のための**誘導等の方向性**を設定

4 ページ参照

施策例（イメージ）

- 課題解決のための施策例（イメージ）
※実際の施策については、居住誘導区域等の検討の際に合わせて検討します。

コンパクト

ネットワーク

交通ネットワークに関する方針・施策内容は、「小樽市地域公共交通網形成計画」の推進と連動

小樽市地域公共交通網形成計画（令和元年5月策定）



居 住

誘導等の方向性・施策例（イメージ）

解決すべき課題

- (1) 居住の誘導・集約による人口密度の維持・確保
- (2) 地域特性等に応じた住環境の維持・形成
- (3) 安全・安心に住み続けられる居住地の形成

居住に関する方針

居住者の安心で快適な暮らしと地域のつながりを持続可能とする、地域特性に応じた拠点等を中心とした日常生活圏の形成に向け、ゆるやかに居住を誘導・集約します。

誘導等の方向性

本市固有の多彩な地域資源や空き家等の既存ストックなどを生かしつつ、拠点やその周辺、公共交通軸沿線に、住みよい環境をつくりながら、居住をゆるやかに誘導・集約することで、“小樽ならではの住みよさ”が備わった居住地の形成を目指します。

施策例（イメージ）

- ・まちなか居住の促進 ・空き家等既存ストック活用促進
- ・利便性の高い拠点やその周辺等への住み替え促進
- ・多様な世帯が居住できる公営住宅の供給
- ・災害の恐れのある区域からの移転促進
- ・ゆとりある郊外住宅地の住環境の維持・保全
- ・多世代居住等による地域の担い手、コミュニティ維持
- ・多彩な地域資源の活用、自然環境と住環境との調和



高齢者
現役世代等

いつまでも住み慣れた地域（自宅）で暮らし続けたいが、将来に不安がある。

元気なうちから、自動車に頼らず、健康でいきいきと歩いて暮らせる**地域内の拠点や中心拠点、公共交通沿線への住み替えをイメージ**

拠点やその周辺等への住み替え促進

災害の恐れのある区域からの移転促進

ゆとりある郊外住宅地の住環境の維持・保全



子育て世代

自然やレクリエーションを楽しみながら、学校の近くなどのゆとりのある住宅地で、安心して子育てしたい。

結婚や子育てなどを契機として、主に賃貸の集合住宅等から、**ライフスタイル等に応じて拠点周辺のゆとりのある住宅地などへの住み替えもイメージ**

＜誘導の方向性と施策のイメージ＞

→ 拠点やその周辺、公共交通軸沿線に、住みよい環境をつくりながら、長期間かけてゆるやかに居住を誘導・集約していきます。



まちなか居住の促進
空き家等既存ストック活用促進
多様な世帯が居住できる公営住宅の供給

若い世代
通勤や買い物の便利さ、楽しめる場所や機会などが必要

利便性の高い拠点や公共交通沿線への居住をイメージ

道内 道外
多世代居住等による地域の担い手、コミュニティの維持

多彩な地域資源の活用
自然環境と住環境との調和



都市機能

誘導等の方向性・施策例（イメージ）

解決すべき課題

- (1) 地域の拠点等における都市機能の維持・誘導による集約
- (2) 中心市街地等における活力と魅力の維持・向上

都市機能に関する方針

居住の誘導・集約と連携を図りながら、誰もが将来にわたって利便性を享受できるよう、各拠点に、その役割や地域特性に応じた都市機能を確保します。

誘導等の方向性

各地域の成り立ちや特性、将来の役割を見据えながら、中心拠点と、これを補完する複数の拠点を配置し、適切な役割分担のもと、必要とされる都市機能を維持・誘導し集約することで、新旧の都市機能が調和し、将来にわたって人が集い、にぎわいあふれる魅力的な拠点を中心とした市街地の形成を目指します。

施策例（イメージ）

- ・中心拠点等における高次都市機能の維持・充実
- ・市街地再開発事業等の面的整備の推進
- ・商業・娯楽、医療・福祉、子育て支援機能の充実等
- ・公共施設等の再編による機能の確保
- ・機能の維持・誘導に合わせた低炭素化の推進
- ・自然や歴史景観と調和のとれた魅力的な街並み形成
- ・拠点等の形成に合わせた公園の再編・集約等
- ・公的不動産や空き店舗等の既存ストックの有効活用
- ・郊外住宅地等における日常生活サービス機能の確保 など

<誘導の方向性と施策のイメージ>

➡中心拠点と、これを補完する高次地域拠点や広域連携交流拠点、日常生活を支える地域拠点と生活拠点を適切に配置し、都市機能の確保します。

自然や歴史景観と調和のとれた魅力的な街並みの形成

中心拠点

経済の中心、高次の都市機能が集積、主要な交通結節機能を有する拠点

高次都市機能の維持・充実

公的不動産や空き家・空き店舗等の既存ストックの有効活用

高次地域拠点

主に中心拠点の機能を補完する拠点

広域連携交流拠点

主に中心拠点等の交通結節機能を補完する拠点

市街地再開発事業等の面的整備の推進

商業・娯楽、医療・福祉、子育て支援機能の維持・充実

公共施設等の再編による機能の確保

機能の維持・誘導に合わせた低炭素化推進

拠点等の形成に合わせた公園の再編・集約、機能の充実等

地域拠点

日常生活の中心的な役割の拠点

日常的な生活サービス機能の確保

生活拠点

日常的な生活サービスを提供、コミュニティを支える役割の拠点





交通ネットワーク

誘導等の方向性・施策例（イメージ）

解決すべき課題

- 持続可能な拠点間交通ネットワークの形成
- 拠点等の形成と連携した交通環境の維持・充実

交通ネットワークに関する方針

拠点間や拠点等を中心とした日常生活圏の移動を支える、持続可能な交通ネットワークの形成を図ります。

誘導等の方向性

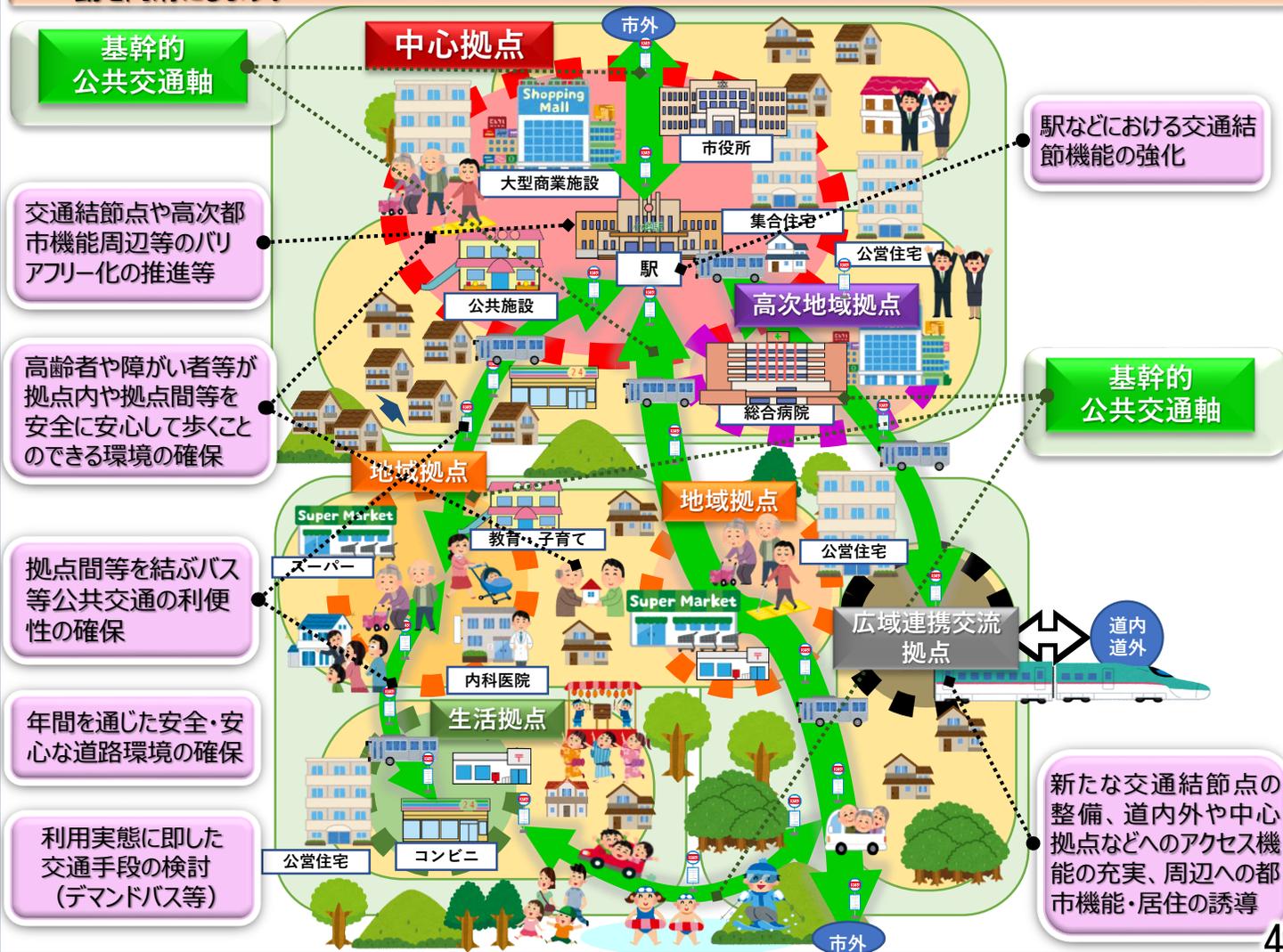
小樽市地域公共交通網形成計画における取組みと連携を図りながら、基幹的公共交通軸を中心とした持続可能な交通ネットワークの形成を図り、将来にわたって拠点間や日常生活圏における円滑な移動を確保します。

施策例（イメージ）

- 駅などにおける交通結節機能の強化
- 高次都市機能施設周辺等のバリアフリー化推進
- 高齢者や障がい者等が、拠点内や拠点間等を安全に安心して歩くことのできる環境の確保
- 拠点間を結ぶバス等公共交通の利便性の確保
- 年間を通じた安全・安心な道路環境の確保
- 利用実態に即した交通手段の検討
- 新たな交通結節点の整備、道内外や中心拠点などへのアクセス機能の充実等

＜誘導等の方向性・施策のイメージ＞

→都市の骨格構造をなす「基幹的な公共交通軸」を中心として、拠点間の行き来や日常生活圏における移動を円滑にします。



駅などにおける交通結節機能の強化

基幹的公共交通軸

新たな交通結節点の整備、道内外や中心拠点などへのアクセス機能の充実、周辺への都市機能・居住の誘導



■課題解決のための施策・誘導方針（ストーリー）のまとめ

・誘導等の方向性と本市で想定される施策例をまとめると、以下のとおりとなります。

